

ARAI NEWS



(株)新井広武 〒330埼玉県大宮市東町2-12 ☎0486(41)3825-7

今日は、U.S.及びヨーロッパに、現地でのセールスプロモーションとサービスを行なう現地法人があります。アメリカでのマネジメントやサービスは、以前お知らせしたことがありました。今回は、モータースポーツやモータリゼーションの歴史の古いヨーロッパでのアライをご紹介したいと思います。

歴史や思想のちかいもの時に重要な参考に

アライEuropeの主な業務は、ヨーロッパマーケットとのコミュニケーションと2/4輪の各ジャンルでのレーシングサービスです。日本の企業として世界というマーケットを考えた時、当然のことながら外国でのアライ製品に対する評価やニーズを正確に把握することは重要なことです。特にヨーロッパは、その歴史からもわかるように人間の生活を大切にし、考え方も東洋とは一線を画するものがあります。たとえば家具というもののひとつをとっても、人間尊重の精神が貫かれており、16世紀に作られたイスが現代の人間工学をはるかに超えた座り心地のよさを持っているなど、日本では体験のできない歴史の深いものがある、といつても過言ではないかもしれません。そんな生活環境の中で育ったヨーロッパ人は、私達アライに助言してくれることには、いつも新鮮な驚きがあるのも、こうした背景があるからでしょう。安全に対する考え方にも、私達とは一味ちがった意見をもっていることに気がつきります。もちろん彼らの考え方より、日本の方が進んでいると思われる点もありますが、製品づくりのノーハウのひとつとして、重要な要素を秘めていることも少なくありません。頭とのフィッティングや運動性など、感性という意味において神経質ともいえるほどの気の使い方をするライダーやドライバー、また個人の好みを明快に主張するところなど、ヨーロッパの人達と接觸して得られる情報は、大きな参考になります。

こうしたヨーロッパでの情報は、すべてアライEuropeを通じて本社にフィードバックさせ、製品づくりのノーハウとして蓄積されていることは言うまでもありません。また、これらをもとにヨーロッパマーケットに向けた製品もつくられるわけです。日本やアメリカと同じように、ロードレースやモトクロスの世界GP、さらにF-1、F-2レースでのレーシングサービスを実施しているのも、こうした理由からなのです。

バッドックの人気者、フェリー・フラワー



このアライEuropeでのコミュニケーションを一手に担っているのが、バッドックの人気者、フェリー・フラワー。彼は、大の日本びいき、そして日本のアライと同じくそれ以上のレース好きのオランダ人です。そんな男がチーフマネージャーとして、アライEuropeを守っています。日本人ライダーがGPに遠征しようとすると、まず電話なりTELEXを入れる相手はフェリー、と言われるほど彼の親身さには定評があります。これはもちろん、彼自身のキャラクターによるところが半分あるわけですが、もうひとつアライの企業としての応援にも注目していただきたいと思います。

日本は、ヨーロッパに比べモータースポーツ自体の歴史が浅く、一般社会においての理解も低いといえます。それにも増しての悪条件

は、いわゆるFar Eastの島国という立地条件から、他国との交流に大きなハンディを背負っていることがあるといえます。そうした中から世界に向かって積極的に挑もうとする青少年達を、アライは拍手をもって応援したいと思います。私達自身が最初そうであったように、言葉も、右も左もわからない世界に飛び出すには勇気がいります。ですから、個人として挑もうとするチャレンジ精神に拍手を送ると共に、多少の経験者として、また企業としても、もちろん制約はありますができる限りの範囲で、お手伝いできることがあつたら少しでも力になりたいと考えています。

こうした一つ一つのステップが、GPに日の丸の上がる日につながり、そして名実共に世界のアライとして認められる日本の企業の心意気として、ヨーロッパ人に受け入れられていく要素になると思います。フェリーのいかにもアライ的なレース好きと、彼の親日的なキャラクターに助けられ、アライEuropeは今後もこのような活動を続けていきたいと考えています。

でも実をいうと、アライ本社としては、フェリーには少し困っていることもあります。なぜならレースシーズンがスタートすると、彼の本来の仕事であるマーケティングの方が少々おろそかになってくるのです。GPに挑戦する日本人ライダーの世話を片寄り過ぎているせいでしょうか…。フェリー、営業担当のカミナリが落ちないうちにもう少し、マーケティングにも熱を入れてください。

ARAI HELMET EUROPE